

# 榛名神社社報



## 榛名神社由緒記

### 御祭神

- はにやまひめのみこと
- 埴山姫命 (生命守護・五穀豊穣の神)
- やまとたけるのみこと
- 倭建命 (開運・土地守護の神)
- すがわらのみぢさねのみこと
- 菅原道真命 (学問守護・災難厄除の神)
- たけみなかたのみこと
- 建御名方命 (産業守護・健康長寿の神)
- 摂社・末社
- おおくにぬしのみこと
- 大国主命 (商売繁盛・良縁結び・病気平癒・交通安全の神)
- 琴平宮・熊野社・稲荷社・産泰社・五柱社
- 厳島社・加茂社 面美様
- 元縣社・利根沼田総鎮守
- 沼田氏・真田氏・本多氏・黒田氏・土岐氏と代々の城主の崇敬を受け、その由縁の品々が今も保存されている。特に本殿は享祿二年(1529)沼田顕泰の建立、元和元年(1615)真田信之により改築され、豪華華麗な桃山文化を今に伝える。

発行日 平成二十七年七月十五日  
 発行所 沼田市榛名町二八五一  
 電話〇二七八(2)二六五五  
<http://harunanomori.com/>  
 発行人 金子浩隆

### 社頭講話

#### 真田氏と榛名神社

いよいよ来年一月からNHK大河ドラマ「真田丸」の放映が始まります。大河ドラマでは「新選組」を書き下ろした三谷幸喜さんが再び脚本を担当し、主演の真田幸村は「半沢直樹」で人気を博した堺雅人さん、真田信之を大泉洋さん、小松姫を吉田羊さんが演じ、製作総指揮は「篤姫」「お江」を手掛けた屋敷陽太郎プロデューサーです。

このNHK大河ドラマ「真田丸」の放映は上州沼田真田の里へ大勢の観光客の方に訪れていただく「千載一隅」のチャンスと言われています。このところ、御朱印帳片手に若い人たちが榛名神社をお参りにこられていきます。私は御朱印の上に「上州沼田真田の里榛名神社」と書き記して差し上げています。榛名神社は一五二九年に沼田の領主沼田万鬼斎が現在地に創建、一六一五年(元和元年)ちようど四〇〇年前に真田信之が本殿を改築・奉建しています。

真田信之の父昌幸はその父幸隆とともに甲斐の武田信玄に仕え、武田の尖兵として沼田に入城、長男信之を沼田城主としました。武田家滅亡の後、昌幸、信之、幸村の真田親子は越後の上杉景勝、天下布武を掲げた織田信長、天下人となつた豊臣秀吉に従い、真田家の生き残りのため戦いを繰り広げます。

豊臣時代、信之は徳川家康の重臣本多忠勝の娘小松姫を家康の養女として妻に迎え、弟幸村は石田三成の盟友大谷刑部の娘を妻に迎えています。

一六〇〇年(慶長五年)真田信之は徳川方、父昌幸と幸村は石田三成方、敵味方に別れ関ヶ原の合戦に臨みます。東軍、西軍どちらが

勝つても、真田家を残すためであつたとも言われています。

関ヶ原の合戦に敗れ、信之の嘆願によって命を救われた昌幸、幸村は九度山に幽閉されます。父昌幸は九度山で他界しますが、弟幸村は九度山を脱出し、大阪の陣に参陣。「真田丸」は幸村が大阪城堀外に築いた砦。幸村は徳川家康軍を相手に勇猛果敢に戦い、「天下一の兵(つわもの)」と呼ばれました。

一六一五年(元和元年)真田信之は榛名神社本殿を改築・奉建し御扉上に真田の家紋・六文銭を記しています。大阪夏の陣で華々しく討ち死にした弟幸村を弔うとともに、利根沼田の真田の治世の安泰を願つたと伝えられています。

榛名神社では真田信之公の本殿改築・奉建四〇〇年を記念して、九月六日(日)の諏訪祭宵祭りの夜、四百年記念イベントを開催する予定です。また、二〇二九年の創建五〇〇年に向けて、積立、奉賛活動を開始します。

## 大祓 夏越の祓、茅の輪くぐり 災厄を祓い心身の清浄を祈る



大祓式は六月三十日と十二月三十一日の午後三時より行います。上半期下半期に分けて、それぞれの最後の日に、心身の罪・け

がれを神様の御力によって祓い清め、次の半期を清々しく過ごすことができるようにと祈る、昔から伝わる神事です。

六月の大祓式は夏越の大祓ともいい、体調を崩しやすいこの時期を元気に過ごせるように祈ります。また、茅の輪を作り、その輪をくぐることで罪穢れや災厄を祓い、心身の清浄を祈り、さらに人形(ひとがた)で祓い清めます。知らず知らずのうちに身についた罪や穢れを人形に託し、祓い清めて、藁の舟(つとっこ)に乗せて川から大海原に、そして根の国底の国の神様により消し去っていただくという神事です。

夏越の祓いは六月三十日に清々しく斎行されました。今年も、氏子総代の皆様方のご協力により立派な茅の輪が作られ、七月三日まで、たくさんの方が茅の輪くぐりをしました。

### 平成二十七年八月三・四・五日

#### ◇祇園祭執行について◇

左記の通り、祇園祭についての日程等をご案内申し上げます。

#### 一、日程

日程	内容	場所
八月二日(月)	神璽奉遷・神輿発幸祭	榛名神社
午前七時二十分	薄御 大鳥居からは車↓	
午前八時	薄根町↓清水町↓榛名町↓西倉内町↓東倉内町↓材木町↓西原新町↓	
	東原新町	
	上原町↓桜町↓高橋場町↓柳町	
午後一時頃	柳町祭典事務所着	
午後三時	奉仕団により柳町を出発	
午後三時三十分	縣社会の山車による奉迎・修祓	
午後四時頃	仮宮着御祭	仮宮
午後六時		
八月四日(火)	恒例大祭	仮宮
午後五時	還幸祭	仮宮
午後四時二十分	還御(奉仕団による)	
午後五時	須賀神社神輿との競演	市役所前広場
午後八時	宮入り・本殿着御祭	榛名神社
午後十時		
一、本年度仮宮	西倉内町	大手前ふれあい広場(旧交番跡地)

